

2025 年度立命館大学+R 学部奨学金産業社会学部 選考要項

はじめに

立命館大学では 1 人ひとりの学生が正課・正課外での様々な学習を通して、「専門的素養」と「Border を超える力＝人間的成長」を獲得することを目指し、学生モデルとして「学びの立命館モデル」をかかげている。本学の奨学金制度は、その実現を支え、励ます仕組みとして位置づけられる。

+R 学部奨学金は、産業社会学部の教学に関連し且つ創造的・個性的な取り組みにおいて、優れた成果をおさめた個人を対象に募集を以下の通り行う。

1. 部門・部および賞

- (1) 部門は「論文部門」および「活動・制作部門」とする。
- (2) 各部門に「2 回生以上の部」および「1 回生の部」を設定する。
- (3) 各部門の種類に「優秀賞」および「教育賞」を設定する。

2. 採用人数と給付金額

部門		種の種類	金額	人数
論文部門	2 回生以上の部	優秀賞	5 万円	6
		教育賞	3 万円	20
活動・制作部門	1 回生の部	優秀賞	5 万円	1
		教育賞	3 万円	10

※採用人数については、各部門・部の応募者数に応じて変更となる場合がある。

3. 応募

(1) 応募期間

2025 年 12 月中旬から 2026 年 1 月上旬の予定。2025 年 4 月頃に明確な時期を提示する。

(2) 応募方法

学部が指定する URL から PDF データで提出すること。

4. 応募資格

応募資格は次の定める要件を全て満たしていなければならない。

- (1) 産業社会学部生
- (2) 2025 年度の学籍状態が「在学」「留学」となっている学生
(2025 年度春学期または秋学期の学籍状態が「休学」となっている場合も対象とする)
- (3) 下表に定める各表彰部門の応募資格のうちいずれかを満たす学生

部門		応募資格
論文部門	2 回生以上の部	2 回生以上であって且つ正課または課外活動を通じて論文を作成していること。
	1 回生の部	1 回生であって且つ正課または課外活動を通じて論文を作成していること。
活動・制作部門	2 回生以上の部	2 回生以上であって且つ正課または課外活動を通じて論文以外の成果物*と指定様式の活動報告書を作成していること。 *例：活動結果が記録された DVD、音声ファイル、出版物等
	1 回生の部	1 回生であって且つ正課または課外活動を通じて論文以外の成果物*と指定様式の活動報告書を作成していること。 *例：活動結果が記録された DVD、音声ファイル、出版物等

5. 応募書類の作成要領

- 単著・共著は問わない。ただし、共著の場合は代表者 1 名が応募し、共著者全員の氏名を表紙（または作成者欄）、学部が指定する応募フォーム内に記載すること。
- 論文は A4 版 5 枚以上 20 枚以下であること。書式は 1 ページ 40 文字×40 行、余白は上下左右 25 ミリであること。
- 論文の本文のフォントは MS 明朝を使用し、フォントサイズは 10.5 ポイントであること。
- 上記以外の論文の書き方、引用方法については SANSHA HANDBOOK を参照するか、もしくは各学問領域の論文に使用されている形式を参考にすること。どの形式を参照してもかまわないが、論文内で一つの形式に統一すること。（SANSHA HANDBOOK の PDF ファイルは manaba+R に掲載）。
- 活動・制作部門に応募する際は、学部が指定する活動報告書の指定様式のファイルを利用すること。
- 他人の著作権を侵害しているものや、盗作・剽窃と判断されるものは表彰の対象としない。また自分で執筆したものであっても、以下の「7. 留意事項」の条件に合致しているか確認すること。

応募書類の作成の注意事項

- (1) 書類は原則 PDF データでの提出（アップロード）とする。
- (2) アップロードができない資料（出版物等）があれば産業社会学部事務室に相談すること。
- (3) 共著、ゼミ、研究室単位で作成された場合、表紙（または作成者欄）に必ず全員の氏名を記載すること。
- (4) 応募書類に不備がある場合は原則として応募を受け付けないため、不備がないよう提出前に必ず確認すること。また、締切時点で不備があるもの（提出できる状態にないもの）は受け付けない。
- (5) 応募書類は返却しない。

- (6) 論文の書き方については、基礎演習、ゼミナールなどの担当教員に積極的に相談してかまわない。

6. 選考方法

産業社会学部で設置する選考委員会において、応募書類にもとづき厳正かつ公正に選考を行う。

7. 留意事項

- (1) 同一の個人あるいはグループが複数の部門に応募することは妨げないが、その場合は同一の取り組みや成果内容では応募できない。
- (2) 本奨学金は、卒業時まで最大で2回まで受給することができる。(例えば、昨年度の+R奨学金で受賞した1回生は、今年度の2回生時にも本奨学金に応募して受賞した場合、3回生以降は本奨学金には応募できない。4年間の学びの中で、いつ何の成果を本奨学金に応募するのは各自が決めること)。
- (3) 本奨学金と岡本茂樹奨学金※の両方に、同じ研究テーマの論文で応募することはできない。同一の内容・文章である場合のみならず、例えば卒業論文のように長い成果物を2つに分けて両方の奨学金に応募するなどできない。同一の個人またはグループが両方の奨学金に論文で応募することができるのは、テーマが全く異なる研究の場合のみである。

※岡本茂樹奨学金とは

故岡本茂樹教授のご功績を偲び、教授のご意思に沿って産業社会学部学生・社会学研究科院生の教育・研究等諸活動に役立てるために岡本教授のご遺族より賜った寄付金をもとに設置された奨学金である。産業社会学部および社会学研究科において、優れた業績または功績を収めた学生・院生に対して奨学金を授与する。そのため院生や学部上回生が出願する事例が多い。

- (4) 受賞の有無にかかわらず、過年度の岡本茂樹奨学金、+R学部奨学金またはその他の学内外の奨学金等に応募したものと同一論文で本奨学金に応募することはできない(二重投稿の禁止)。

学内奨学金一覧 (一部)

奨学金名	併給	備考
西園寺記念奨学金 (成績優秀者枠)	可	—
岡本茂樹奨学金	可	—
学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金 (正課授業)	可	—
立命館大学正課外プログラム助成金	可	学生オフィス所管
立命館大学 Challenge 奨学金 (個人)	可	学生オフィス所管
立命館大学校友会未来人材育成奨学金 (団体支援)	可	学生オフィス所管

- (5) 学外奨学金との併給可否については、各奨学金の規程等を確認すること。

8. 選考結果の通知

奨学生に対して、以下のとおり受給の決定および受給の手続きを manaba+R にて通知する。

(1) 発表日 2026 年 2 月 13 日 (金) 予定

(2) 発表方法 manaba+R で通知する。

9. 奨学生の公表

学部・学科・氏名および受賞した成果のタイトルを manaba+R で公表する。

10. 給付方法

手続きを完了した者に対して、給付金額全額を一括して給付する。給付は、本人名義の銀行口座へ振込む。

11. 給付の取消

学籍を失ったとき、停学の懲戒を受けたとき、正当な事由なく奨学生としての義務を果たさなかったときなどには、給付を取り消し、返還を求めることがある。

12. その他

国費外国人留学生は、本奨学金を受給できない。

以上